



全体集合写真。
手作りの文字盤で
フードデーを
アピールしました。

世界食料デーでイベント

青年海外協力隊 2018 年度 1 次隊 派遣国：トンガ王国 伊藤有未（三郷市）

10 月 16 日は世界食料デー（以下、フードデー）。今回のイベント開催は、今年 2 月に参加した第 1 回大洋州 NCDs 広域在外研修の際に、「フードデーに合わせたイベントをしよう」と同僚と話したことがきっかけでした。停滞していた女性委員会を再開させ、当日のプログラム構成は、①健康および栄養指導 ②クッキングデモ③BMI 計測 ④ビデオ撮影 ⑤野菜苗の配布としました。

具体的な話し合いは 1 週間前から。首都本庁の承認を得られたのは前日。参加者が招集日を忘れてしまうからの理由で前日のアポ取りが主流。私も同僚に合わせるように、ポスターの準備や書類申請を済ませました。（間際になって準備するところ、私ももうトンガ人です。）



身長、体重、BMI 算出の役割分担は、もうバッチリです。

前日の急な声かけにもかかわらず、当日は NCD ナースも参加してくれ、健康的な食習慣や BMI について説明してくれることに。農業省主催であるも、結果的に保健省とのコラボ企画となりました。クッキングデモは教材や調味料も残っていたことから、フォローアップも兼ねて、先日首都スタッフが行った内容と同メニューで実施（前号にて紹介済み）。BMI 計測も行い、ビデオ撮影へ。海外出稼ぎ者や移住者の多いトンガの人たちは、遠く離れた家族との連絡手段として SNS を多用。SNS を活用することで、フードデーの認知度を広め、食習慣についても改めて考えてほしいとの思いもあり、発案から実行に至りました。残念ながら、プログラムの時間配分と悪天候により、野菜苗の配布はアナウンスに留まりましたが、希望者複数名にはイベント翌日に配達しました。

赴任して約 1 年 3 ヶ月、イベントの規模感や情報量、首都と離島には大きな隔たりを感じることもありますが、小規模ながら任地エウアでもできることを証明できた今回のイベント。栄養指導やクッキングデモ、BMI 計測とこれまでの実施内容を凝縮でき、ブラッシュアップにもなりました。食べるのが好きだからこそ、食への知識を増やして、健康体を手に入れてほしいと思います。

健康を意識して、モリンガパウダーを使ったおにぎりを提供。作り方を説明しているところです。

